



# はなみずき

「はなみずき」の花言葉には「私の想いを受けとめてください」という意味があります。また、小林市にあふれる「花・水・木」など、いろいろな思いが込められています。

令和5年8月1日発行

——いま、ここから。  
市民の声を議場の中心に



## ■ これ、知っちゃった？

「**新体制**を紹介します！」・・・P2～

- 表紙のひとコマ・・・P3
- 議場見学・議会傍聴・・・P5
- 一般質問・・・P6～

■ 6月定例会のあらまし・委員会審査報告

- ・・・P12
- 表決結果一覧・・・P14
- 語り継ぐ小林の歴史・・・P15
- 小川 真 議員のイチオシ！・・・裏表紙



金松 勲 委員 野田 利典 委員

大迫 みどり 委員 舞田 重治 委員長 松嶺 勇一 副委員長 前田 隆博 委員

### 経済産業委員会（定数6人）

経済産業委員会の6人です。2年間よろしくお願いいたします。ロシアのウクライナ侵攻や新型コロナウイルスは、物価高騰をはじめ、地方経済に多大な被害をもたらしています。また今後、超少子高齢化問題や人口減少、環境激変に伴う自然災害等多くの課題を抱えております。経済産業委員会では農業や地元中小企業の担い手不足等の課題に対し、政策提案に取り組んでまいります。



永野 雅己 委員 能勢 誠 委員

高野 良文 委員 有木 将吾 委員長 竹内 龍一郎 副委員長 貴嶋 憲太郎 委員

### 市民厚生委員会（定数6人）

本年度の当委員会は年間テーマである「子育て支援」を中心に展開していきます。これから本格化する超少子高齢化社会を見据え、本市にあった施策を調査、研究して行政に政策提案を行います。また、子どもからお年寄りまで、医療と福祉、税金、生活環境など市民生活に直結する政策に関わる委員会でもあります。小林に住んで良かったと思えるように関係機関と情報共有し、市政に反映してまいります。



松嶺 勇一 委員 金松 勲 委員 永野 雅己 委員 小川 真 委員

大迫 みどり 委員 堀 研二郎 委員長 能勢 誠 副委員長 鎌田 豊数 委員

### 広報広聴委員会（定数8人）

新しい発想と取組で、議会・議員の活動を発信してまいります。また、意見交換会の開催を通して様々な分野で活動される皆さまのご意見を議場へと届け、発信してまいります。新人議員からベテラン議員で構成されたメンバーで、アイデアを出し合い、広報広聴の分野から開かれた身近な議会の構築に向けて、取り組んでいきます。

### 総務文教委員会（定数6人）

総務文教委員会は委員6人で構成されています。所管は、効率的な財政及び行政運営、防災等の危機管理、協働のまちづくりを含めた学校及び文化教育等、市民生活に関わる分野を審査してまいります。

本年度は、住みよい小林市を目指し「健幸のまちづくり拠点施設」、さらに小林市の未来を見据えた「公共交通の利便性の検討」、「公共施設の今後の在り方」等も調査し、あらゆる視点から活発な討議と慎重な審査に心がけ、市政運営に提案を行ってまいります。



令和5年5月に新たな議会体制がスタートしました。今回の「これ、知っちゃった？」は、「議会構成」を特集します。

### 議長・副議長・議会選出監査委員



議長  
吉藤 洋子



副議長  
鎌田 豊数



議会選出監査委員  
貴嶋 憲太郎

### 常任委員会



小川 真 委員 堀 研二郎 委員

鎌田 豊数 委員 押領 司 剛 委員長 橋本 律子 副委員長 原 勝信 委員

### 表紙のひとコマ

議会はまちづくりの中心であり、『その議論の核（中心）は市民の声である。』という思いから、誰も座っていない議場を撮影。誰もが議場に座って発言している気持ちや、議場の中心が市民全員であることを表現しました。

会派名	にほんきょうざんとう <b>日本共産党</b>
会派	大迫 みどり (代表者)
構成員	橋本 律子 (経理責任者)

《代表者からのコメント》  
「子どもにいちばんよいことを」、「市民によりそいくらしをまもる」2人が掲げたメッセージです。赤ちゃんからお年寄りまで、だれもが人格を持った「人」として尊重され、幸せを実感できる市政を目指して頑張ります。



会派名	きたきりしませいしんかい <b>北霧島政新会</b>
会派	高野 良文 (代表者)
構成員	野田 利典 (経理責任者)

《代表者からのコメント》  
令和5年4月の統一地方選挙で会派が新しくなりました。北霧島政新会です。野尻地区在住の野田利典、小林真方地区在住の高野良文の2人の会派ですが、お互いに協力し合い、小林市の発展のため、精一杯行動いたします。



会派名	りっけんみんしゅとう <b>立憲民主党</b>
会派	竹内 龍一郎
構成員	(代表者・経理責任者)

《代表者からのコメント》  
少子高齢化社会に対応し、市民の声を市政に反映した施策の実現に向けた取組を進めます。平和憲法を守り、健康で安心して暮らせるまちづくりを目指します。



会派名	こうめいとう <b>公明党</b>
会派	鎌田 豊数
構成員	(代表者・経理責任者)

《代表者からのコメント》  
「大衆とともに」の立党精神を胸に市民に寄り添い、小さな声にも耳を傾け、市政の様々な課題に取り組みます。また市民に信頼される議会、チーム議会としての総合力を発揮できるような議会改革にも全力で取り組みます。



## 議会運営委員会



### 議会運営委員会 (定数 6人)

議会運営委員会は、議会の円滑な運営を図るため設置されています。重要案件がしっかり議論できるように「論点整理や事前勉強会の効果的な展開」「委員長報告に対して当局から回答を得る仕組み作り」「委員会のリモート化」「4年前に導入したタブレットのさらなる有効活用」「委員会のオンライン化」等、取り入れるべきものは早急に対応し、議会改革の先進地となるよう、また市民の信頼に応える開かれた議会運営をさらに進めてまいります。

## 会派

会派とは、市民の生活に密着した様々な施策を市政に反映させるため、同じような考え方や意見を持つ議員同士のグループのことをいいます。  
現在の小林市議会の会派は、「立新会」「創生こばやし」「日本共産党」「北霧島政新会」「立憲民主党」「公明党」の6会派で構成されています。

## 議場見学 / 議会傍聴

今年も6月に市内小学校の6年生の皆さんが議場見学・議会傍聴に来てくれました。子どもたちが書いた感想文をQRコードから読むことができます。



感想文  
▼  
永久津小学校  
(6月19日)  
11名



感想文  
▼  
三松小学校  
(6月9日)  
3クラス  
92名



感想文  
▼  
西小林小学校  
(6月21日)  
28名



感想文  
▼  
2組  
感想文



感想文  
▼  
栗須小学校  
(6月29日)  
27名



感想文  
▼  
3組  
感想文

会派名	りっしんかい <b>立新会</b>
会派	貴嶋 憲太郎 (代表者)
構成員	押領 司 剛 (経理責任者)
	前田 隆博
	有木 将吾
	松嶺 勇一
	能勢 誠
	小川 真
	堀 研二郎



《代表者からのコメント》  
統一地方選挙で負託を受け、市議会議員としての活動が始まりました。議会構成も決まり、立新会もそれぞれ自己研鑽を重ね、市政発展と地域の課題解決に取り組みながら、市民の安心・安全のために全力を尽くしてまいります。

会派名	そうせい <b>創生こばやし</b>
会派	原 勝信 (代表者)
構成員	永野 雅己 (経理責任者)
	吉藤 洋子
	舞田 重治
	金松 勲



《代表者からのコメント》  
創生こばやしは新人議員を含む5人の会派です。市民の皆様の声をしっかりとお届けし、いち早く具現化に向け行動していきます。これまで以上に市民により見える、開かれた議会に向けて全力で取り組んでまいります。

# 一般質問

市民の声を市政へお届け

問：質問  
答：答弁  
意：意見



議員が日ごろの議員活動を通して疑問に感じていることや改めたいこと、実現すべきことについて質問・提案し、市長・部長等が答弁します。  
6月定例会では11人の議員が質問しました。

議会中継

インターネットでもご覧になれます！

◎ライブ配信は定例会「本会議」の開催中に配信しています。

小林市議会 動画配信

検索

議会中継 ライブ配信・録画配信ページはコチラのQRコードから⇒



一般質問者のQRコードから、録画配信をYouTube（ユーチューブ）でご覧いただくことができます。

## 紙おむつ処分の現状は



リッしんかい 立新会  
まえだ たかひろ 議員

**問** 保育施設における使用済み紙おむつの処分は。  
**答** 市内の保育所・認定こども園24園のうち、持ち帰りが17%、残りの83%が施設で処分している。  
**問** 保護者の費用負担の状況は。  
**答** 施設によって異なるが、保護者負担が75%、負担が25%である。  
**問** 処分費用を市で負担できないか。  
**答** 機会を捉えて、国等への要望も検討したい。  
**問** 県のおむつの負担軽減モデル事業を導入する考えは。  
**答** 慎重な検討が必要であるので、今後調査・研究したい。



利活用されていない旧バラ園施設

**問** のじりこびあじあ園施設の利活用は。  
**答** 賃貸借契約しているもので、現在の契約者と利用方法について協議を進め検討していく。  
**問** 小林総合運動公園野球場は芝の管理もあり、平日の使用が制限されているが、芝生以外の部分は活用できないか。  
**答** 内野の土の部分だけでも使えないか、芝の管理業者と協議し、検討していく。

公共施設の活用



## 高齢者に優しい施策を



リッしんかい 立憲民主党  
たけむら りゅういち 議員

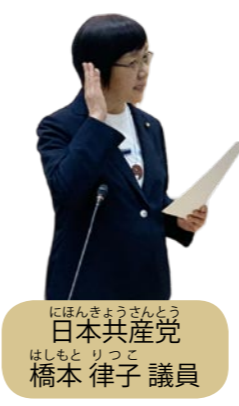
**福祉タクシー料金の助成**  
**問** タクシー券交付実績は。  
**答** 令和3年度1097件、令和4年度1029件。  
**問** 交付要件の所得制限の撤廃の考えは。  
**答** 要件緩和を行い、使い勝手の良い制度になるよう努めている。福祉的観点で実施している事業であり、所得等で線引きをする必要がある。  
**意** 市の健康のまちづくりの一環として、全高齢者に対する本場に優しいまちづくりのため、所得制限の撤廃を。  
**帯状疱疹の予防接種費用**  
**問** 市として、带状疱疹の現状把握は。  
**答** 带状疱疹は、医療機関から報告を必要としない疾患のため、具体的数字は把握していない。  
**問** 带状疱疹は、特に50歳以下



带状疱疹の予防接種に助成を

出典：グラフン・スミスライオン株式会社「带状疱疹予防」

## 聞こえのバリアフリー



にほんせいさんとう 日本共産党  
はしもと りつこ 議員

**補聴器購入助成をぜひ**  
**問** 高齢者に自分の聞こえの程度を知ってもらうために、定期健康診断の項目に聴力検査を入れてはどうか。  
**答** 厚生労働省が定める検査項目に含まれていない。  
**問** 文字表示のある防災ラシオは難聴者にも配付可能か。  
**答** 在庫はあるので、今後周知していきたい。  
**問** 加齢性難聴者への補聴器購入助成に取り組む考えは。  
**答** 宮崎県市長会として国に要望していく。市としての対応は財政的に難しい。  
**意** 高齢者は市の宝。ぜひ前向きに検討を。



子ども先生も楽しい学校を

**教職員の働き方は限界**  
**問** 現在の現場の状況は。  
**答** 朝6時前に出勤、夜11時過ぎに退勤というケースもある。先生たちも苦慮している。  
**問** 教員を増やすために、在庫負担・定数算定方法の改定を国に働きかけてほしい。  
**答** 気持ちは同じ。算定係数までではないが、定数の増・義務教育費の全額国庫負担については継続して要望している。  
**意** 「先生が足りない」という現状がある。教師の労働条件は子どもの教育条件。教員を増やす政策は待ったなしだ。



# 公共施設の安全性確保

**問** 地域の生活道路対策は。 **答** トンネルの調査・点検は、県土木事務所において5年ごとに実施している。ひび割れや漏水はあるが、利用者の安全性にほとんど影響がない状態であり、パトロールもほぼ

## 地域の生活道路対策

**問** 須木地区体育館や須木小中学校の雨漏りや壁の亀裂など、老朽化による事故が懸念されるが、補修の計画は。須木地区体育館は避難所にもなっているが。 **答** 須木地区体育館は第2次避難所となっており、雨漏りしている状況は確認しているため、今後十分検討したい。学校においても、市内他の学校施設の状況を見ながら緊急性の高いものから優先的に対応したい。



創生こばやし 金松 勲 議員



新軍谷トンネル・公共施設の雨漏り

**問** 須木地区から小林市内への迂回路の状況は。 **答** 市道永田奈佐木線は落石・倒木も多く、住民からの通報を受けて随時対応することもありますが、現在はひと通りの補修を終了している。大規模林道宇目・須木2号線は、昨年の台風で落石等が多く発生しているが、機能が十分發揮されるよう改善していききたい。市道夏木九々瀬線、橋満・九々瀬線は、ほぼ適切に維持管理されている。



詳しくはコチラ▼

毎日行っているとのことである。

# 子育て世代の負担軽減



日本共産党 大迫 みどり 議員

**問** 人口減少・高齢化が進行する中、いつまでも楽しく元気に暮らし続けるための施策が必要。高齢者訪問調査から見えてくる現状と課題は。 **答** 年代が高くなるほど一人暮らしの割合が高い。将来的に施設介護より在宅介護のニーズが高い。希望に沿った高齢者施策が必要。

## 義務教育は無償と言った

**問** 子どもの教育を受ける権利を保障するには、あまりにも高すぎる保護者負担になっていると思うが。 **答** 特に入学時の負担が大きく、対応に苦慮しているという声も聞く。経済的な事情で児童生徒の学習の機会が損なわれないように、必要な時に就学援助が受けられるなど教育環境を整備していきたい。

**問** 学校給食の無償化は、多くのメリットがある。全額補助を。 **答** 学校給食応援事業は、子育て世代の負担軽減や児童生徒の学校給食に対する感謝の気持ちの醸成など、食育の観点からも意義がある。半額補助を継続するため、財源確保に力を入れる。国が無償化することは大歓迎。



教育の一環としての学校給食



詳しくはコチラ▼

# 児童人口減少への影響



創生こばやし 原 勝信 議員

**市長の政治姿勢** **問** 昨年生まれた子供の数は、目標値300人に対して234人である。出会いの創出、結婚、妊娠、出産、子育て支援はプロジェクトチームをつくって本気でやるべきでは。 **答** 少子化対策関係課会議を設置し、庁舎内連携して取り組んでいる。また、4月に設置したこども課において、支援対策を強化していく。 **問** 子育て施策の調査で、市が重点的に取り組む必要性が高いと思われる項目で、小児医療の充実が69.6%である。小児救急、入院環境、夜間診療、休日対応の考えは。 **答** 少子化対策関係課会議を設置し、庁舎内連携して取り組んでいる。また、4月に設置したこども課において、支援対策を強化していく。



詳しくはコチラ▼



安心して子供を育てられる環境を

**問** 令和9年のゼロ歳児人口は、200人と推計されている。本市でも平成25年に廃校になった小学校もあり、児童人口の減少は学校の統廃合が懸念されるが、また、教育施設の高齢化への対応は。 **答** 児童生徒数の著しい減少が見込まれる学校は、改築等が必要であれば統廃合、複合化、長寿命化を検討する。

**問** 入院診療、深夜帯の診療体制が十分とは言えない。県が策定を進める医療計画等において、県内に4つのことも医療圏を設定して体制整備を図っている。

# 大規模地震への備えは

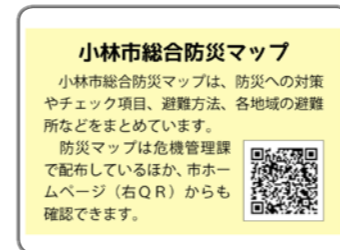


立新会 押領 剛 議員

**南海トラフ地震への備えは** **問** 小林市の役割は。 **答** 宮崎県南部地域大規模災害対策連携推進協議会を10市町で設立している。後方支援の役割として都城市の活動を補完・強化することとなっている。この中で策定した災害時広域連携計画に基づき県及び関係市町と連携し、訓練などを通じて南海トラフ地震に備え役割を果たしていく。 **問** 避難者への対応は。 **答** 同計画の中で宮崎市、日南市の避難者2万4791人を内陸部の市町で支援する計画となっている。ほとんどは都城市で支援可能であるが、関係市町においては必要な場



詳しくはコチラ▼



防災マップの確認を

合に避難者の受け入れを分担することになっている。 **問** 水、トイレの確保は。 **答** 水については20ペットボトルを456本備蓄している。加えて、水会社と災害協定を締結している。トイレについては、組み立て式簡易トイレ45台、マンホール対応型50台、ワンタッチルーム・インスタントトイレセット120台、合計215台準備している。 **問** その他の質問 **■** 健康都市の推進について **■** コロナ禍後の子ども達の現状について

# 災害停電時の支援体制



きたきりしませいしんかい  
北霧島政新会  
の だ とし の り  
野田 利典 議員



**問** 災害時の市民への情報伝達方法と防災ラジオの点検並びに九州電力との連携は。

**答** 市の防災メール、防災ラジオ等で伝達している。防災ラジオの点検を各地区での災害訓練や講座で周知している。九州電力とは災害復旧に関する覚書を締結しており、停電状況等の連絡体制をとっている。

**意** もっとと緊密に連携して、いつ復旧ができるか確認を。

**問** 災害時の停電地区への発電機の対応は。

**答** 停電が長期間にわたる場合は、市が備蓄している発電機



電池は定期的に交換を

**問** 観光行政は

**答** 市所有のキャンプ場の整備計画は。

**問** 施設の老朽化で再整備は難しい。のじりこぴあでは多目的広場でキャンプを試行的に実施し、すぎむらんども同様にリニューアルした芝生広場の活用を検討している。

**問** ゆ〜ぱるのじりの宿泊再開は。

**答** ハーメックのじり(株)の経営の健全化を優先的に取り組んでいる。

## 災害時の停電対応は

# 地域計画と農業活性化



そうせい  
創生こばやし  
まいた しげはる  
舞田 重治 議員



**問** 地域農業はどう変わるのか。

**答** 農家の減少や耕作放棄地の拡大が進まないよう地域で話し合い、地域計画を策定し、次世代に着実に引き継ぐ。

**問** 農家が20年後、4分の1になる見込み。地域計画は可能か。

**答** 多様な担い手やスマート農業の活用が重要と考えている。

**問** 木材の自由化の影響で、山間部に多くの限界集落が発生した。地域計画もそうならないか。

**答** 今後、話し合いの中でそれぞれの意見を伺いながら計画を進めていく。

**問** スマート農業、みどりの



J A トレーニングセンターの研修

食料システム戦略や農産物のブランド化の位置づけは。

**答** スマート農業の導入による省力化・コスト削減、また、みどりの食料システム戦略に基づく減農薬・減肥料や地域農産物のブランド化を含め、農地の有効活用・農家の所得向上・地域活性化のための取組として有用な施策となるよう話し合いの中で意見を伺いながら盛り込むこととしている。

**問** 農産物が安いので、市の基本構想の見直しには現場の声を。

**答** 県の基本方針の内容を確認し、現場の意見を聞き、変更していく。

# 若者が創業できる街へ



きたきりしませいしんかい  
北霧島政新会  
の たか の よしふみ  
高野 良文 議員



**問** 中心市街地活性化を

**問** 空き店舗の現状と市の取組は。

**答** 商工会議所の調査によると、平成30年度から、20店舗前後で推移している。中には店舗を解体し駐車場にしたり、状態が悪く活用のできない物件もあるため、単純には比較できない。活性化については、空き店舗に新たな創業者が入居し、賑わいをもたらすことが重要と考える。市では、改修費や家賃の一部を支援する新規創業者支援や、小林ビジネス支援センターと連携した創業支援を行っている。



新規店舗が増えている赤松通り

**問** 鳥獣被害対策

**問** 本市の現状は。

**答** 令和4年度の有害鳥獣による農作物の被害金額は、3167万8千円となっている。捕獲数の実績はシカが2404頭、イノシシが1311頭、サルが7頭、アヌグマが222頭である。捕獲方法は、小林猟友会員の協力で有害鳥獣駆除班を編成して、銃器や罠による駆除をしている。

# 学校と地域との連携は



りっしんかい  
立新会  
おがわ まこと  
小川 真 議員



**問** 田植え学習や、登校見守り隊で、学校と地域の連携がうまくいっていない部分があるか。

**答** 地域世代間交流、生涯を通じて学び環境のあるまちを目指している。教職員の大量退職時代を迎えているため、学校にも引継ぎを慎重にするよう指導したい。今後は地域と連携する仕組みを十分機能させることができるかが大切である。

**問** 学校の喫煙場所

**問** 健康増進法が改正され、学校は原則、敷地内禁煙となった。ただし、受動喫煙を防止する措置をとれば、学校



学校と地域が連携した美しい風景

の屋外に喫煙所を設置できる。たばこ税は年3億円超と市税の中でも3番目に大きい財源。本市での設置は。

**答** 本市は、すべての学校で敷地内喫煙所は設けていない。施設利用者が児童生徒であるため、身体に及ぼす影響、子ども中心の教育的配慮から設置することは考えていない。

その他の質問

■小・中学校の登下校について

# 6月定例会のあらまし・委員会審査報告

6月定例会は、6月12日から7月4日まで23日間の会期で開かれ、市長から提案された令和5年度一般会計補正予算案など13議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

なお、開会日までに受理された請願2件、陳情1件についてはいずれも不採択となり、また、議員提出の意見書案1件を原案のとおり可決し、関係機関に意見書を送付しました。

## 総務文教委員会・分科会

◆**消防団詰所移転計画**  
(消防施設整備事業費  
1,041万6千円)

**事業概要**  
消防団第7分団第5部詰所が老朽化し、土砂災害警戒区域に立地していることによる移転新築のための建築設計委託料及び土地造成工事費。

**意見**  
今後の消防団詰所の建替計画については、消防団員数の状況や地域の実情も十分に踏まえて進められたい。

◆ICT率100%  
(財産の取得にさいして)

**議案概要**  
令和5年3月の市内業者の寄附を受け、市内の全小中学校に大型提示装置を整備する。

**意見**  
機器の経年劣化等による更新費用の後年度負担が想定される。基金の創設を踏まえた財源確保の方策を検討すべき。

## 経済産業委員会・分科会

◆**食育・地産地消**  
(農産物消費拡大推進事業費  
70万円)

**事業概要**  
学校給食へ地元農産物を提供し、児童・生徒の地産地消及び食育を推進するとともに、市内農産物の消費拡大につなげる。

**意見**  
今後もし生産者を動画で紹介するなど生産者の顔が見える形の食育を推進し、市内農産物の消費拡大に努められたい。

◆**農業の担い手育成**  
(畜産競争力強化整備事業費  
1億7,190万8千円)

**事業概要**  
西諸県地域肉用鶏クラスター協議会に補助を行い、市内養鶏の規模拡大を図る。

**答問**  
今後の事業の推進は、農家・行政・農協が協力して地域の畜産力を高める事業。この事業により本市の畜産規模は格段に拡大された。今後も各協議会と連携して取り組んでいきたい。

**意見**  
飼料や燃油価格の高騰等、経営環境が厳しい状況下であるが、今後も取組主体の経営状況を見極めながら、事業の推進に努められたい。

## 市民厚生委員会・分科会

◆**厳しい国保財政に関心を**  
(国民健康保険事業特別会計補正予算  
1億3,730万5千円組替え)

**事業概要**  
歳入の国民健康保険税の減収が見込まれることから、繰越金を増額し予算の組替えを行う。なお、国保税の税率は据え置く。

**答問**  
令和2年度は42万7,539円、令和3年度は46万2,174円、令和4年度においては、令和3年度と同程度または上昇の見込み。

**意見**  
計画的な財政運用を図るとともに、医療費抑制、市民の健康意識の向上につながるよう関係各課と連携した取組を。

◆**端末交付で利便性向上へ**  
(印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正)

**議案概要**  
スマートフォンを利用してコンビニエンスストア等に設置されている多機能端末で印鑑登録証明書を交付する手続を定めた規定の改正。

**答問**  
市民に対する手続支援は、国が開示しているフリーダイヤルを案内する。  
**意見**  
デジタル化の進展に伴う市民の不安に対応するため、情報収集及び関係各課との連携を。

### 陳情第1号

全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情

#### 【委員会での主な意見】

陳情要旨にある「議決を行わないようにしてください」を求めることについては、議会の権限を制限するものであり、受け入れることはできない。

【結果】 本会議で委員長報告があり、採決の結果、全会一致で不採択となりました。

### 請願第1号

「核兵器禁止条約署名批准を促進する意見書」を国に提出することを求める請願

#### 【委員会での主な意見】

核兵器の廃絶への思いは同じくするが、請願書及び意見書案にある「核兵器が基礎になって開発された原子力発電所」は誤解を招く表現であり、議会として賛同することができない。

【結果】 本会議で委員長報告があり、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

### 請願第2号

「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を国に提出することを求める請願

#### 【委員会での主な意見】

新型コロナウイルス感染症の影響も残っている中での制度の実施は時期尚早である。また、制度が複雑であるため、対象者がしっかり制度を理解し、免税事業者か課税事業者になることの選択の判断ができるようにした上で、制度を実施すべきである。

消費税は、経営が赤字でも納税義務が発生する過酷な税制。中小零細事業者には、負担軽減策として免税点制度が定められているが、インボイスは、課税事業者になることを強いるもので、広範囲の経済活動に影響が及ぶ。

賛成討論  
大迫みどり議員

インボイス制度は公平な税負担につながる。取引環境の整備も取り組まれている。国は制度導入を10月まで延期し、本市でも商工会議所等で研修会を実施し、準備を進めている。さらなる延期は混乱を招く。延期ではなく円滑導入に向けた改善策を提案すべき。

反対討論  
鎌田豊数議員

【結果】 本会議で委員長報告があり、採決の結果、可否同数となったため、議長裁決により不採択となりました。

## 議会改革特別委員会 を設置しました

#### 【目的】

開かれた議会の構築並びに時代に即応した議員活動及び議会活動の充実を図るため、議会改革を推進することを目的とする。

【期間】 令和5年7月4日～令和7年3月末

【構成員】 8人

- |      |        |    |        |
|------|--------|----|--------|
| 委員長  | 竹内 龍一郎 | 委員 | 松嶺 勇一  |
| 副委員長 | 鎌田 豊数  | 委員 | 永野 雅己  |
|      |        | 委員 | 前田 隆博  |
|      |        | 委員 | 舞田 重治  |
|      |        | 委員 | 大迫 みどり |
|      |        | 委員 | 高野 良文  |

### 意見書案第1号

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

#### 【意見書の概要】

森林及び林業就業者の多い市町村が必要な森林整備をより一層推進することができるよう、森林環境譲与税の譲与基準を見直すことを国に求める。

★意見書全文はこちら▶▶▶



#### 【結果】

本会議で議会運営委員長から提案理由説明があり、採決の結果、全会一致で可決、関係行政庁へ送付しました。



↑吉村宮司へのインタビュー動画をご覧になれます。



↑紙屋城攻め踊りに関する動画をご覧になれます。

宮司は一七代吉村孝久氏。例大祭は毎年11月23日に神事と五穀豊穡を祝う「ほぜ祭り」を行う。江戸時代から始まり昭和初期の恐慌以降途絶えがちであった「城攻めおどり」を昭和57年に50年ぶりに老人クラブと紙屋小学校の児童が復活させ、現在も伝承保存している。小学生の踊りは皆に感動を与える。

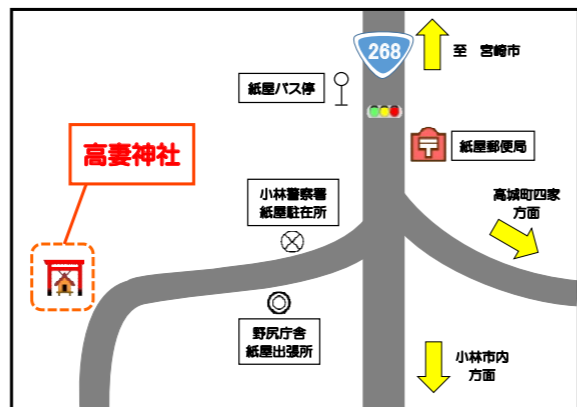
語り継ぐ小林の歴史 シリーズ③ 神社が繋ぐ伝統と継承 (野尻町紙屋地区) 高妻神社は紙屋新町西部から町道を北方へ約二〇〇メートル程入り込んだ袖山と呼ばれる小高い台地にある。樹齢三〇〇年と言われる巨杉を中心に見事な鎮守の森を形作っている。旧称を高妻八社大明神と呼んでいたが、明治初めの神仏分離令によって、高妻神社に改めた。現在は素盞鳴命を主神として四神が祀られている。境内には、大正元年に高木兼寛男爵が県下の優良校であった紙屋小学校を訪問後、当社に参拝したのを記念して紙屋地区民が奉納した巨石(手洗石)がある。また、西南の役の戦没者一二柱を祀った招魂社、さらに、太平洋戦争までの戦没者陸軍九六柱、海軍二二柱、計一一八柱を祀る忠霊塔が建立されている。



手洗石



神社入口



高妻神社の位置図

(参考文献)野尻町史・久遠の遺産 取材・編集・松嶺 勇一/金松 勲

○議会への提言・疑問・質問などお寄せください。

Blank lines for writing proposals or questions.

○今回の「はなみずき」で関心のあることや感想があればお書きください。また、もっと読みたいくなるような「アイデア」があればお寄せください。

Blank lines for writing comments or ideas.

令和5年第3回臨時会 表決結果一覧

(令和5年5月15日～5月16日)

議案の内容はこちら▶▶▶



Table with 16 columns (representing council members) and 4 rows of agenda items (Report 1, Report 2, R5 Budget Amendment 40, Personnel Agenda 41).

追加議案

議案の内容はこちら▶▶▶



令和5年第4回定例会 表決結果一覧

(令和5年6月12日～7月4日)

Table with 16 columns and 19 rows of agenda items (Reports 3-4, R5 Budget Amendment 42, Ordinances 43-51, Resolutions 1-2, Petitions 1-2, Opinions 1).

※可否同数につき、議長裁決により不採択

「小林市議会の運営に関する基準」に基づき、提案された全議案に対して、各議員の表決態度(賛否)を公表しています。掲載に当たっては、次のとおりです。(○:賛成 ●:反対 欠:欠席 除:法律により採決に加われない者 -:議長は表決には加わらないため)





議員の  
小川 真

イチオシ!!

# 小林市郷土芸能 フェスティバル

『小林市郷土芸能フェスティバル』が、平成29年以来、6年ぶりに帰って来ます。

今年、11月12日(日)小林市文化会館で行われ、小林市郷土芸能保存会連合会の田原 治男 会長を中心に、8つの保存会が小林市の貴重な郷土芸能を披露する予定です。

色鮮やかな衣装を身に着けての演舞や所作、細かな諸道具、音色や掛け声は小林市の宝。必見、必聴です。(写真はH29年度開催時)



岩戸神楽  
(いわとかぐら)



紙屋城攻め踊り  
(かみやしろぜめおどり)



真方一区兵児踊り  
(まがたいっくへこおどり)



永田町馬踊り  
(ながたちょうまおどり)



剣舞一の谷  
(けんぶいちのたに)



東方輪太鼓踊り  
(ひがしかたわだいこおどり)



細野一区輪太鼓踊り  
(ほそのいっくわだいこおどり)



新地馬場棒踊り  
(しんちばばほうおどり)

## 次の9月定例会は

日	月	火	水	木	金	土
					9/1 開会日	2
3	4 一般質問	5 一般質問	6 一般質問	7 一般質問	8	9
10	11 議案質疑	12 議案質疑	13	14 委員会	15 委員会	16
17	18 敬老の日	19 委員会	20 委員会 予備日	21	22 決算審査 特別委員会	23 秋分の日
24	25	26 予算審査 特別委員会	27	28 最終日		

◎突発的な事情等により変更となる場合があります。

## 編集後記

4月の統一地方選挙から新体制となつた議会。  
喜びの感覚より、議員としての責務を全うして行く覚悟を改めて刻んだ2ヶ月。  
6月定例会を終え、改選後初の「はなみずき」発行となりました。様々な情報発信がある中で、新たな仕掛けで議会と市民を繋ぐ、記憶に刻まれる広報紙づくりを目指してまいります。

広報広聴委員長 堀 研二郎

切り取ってお出しくささい



郵便はがき

886-8790

(受取人)

差出有効期間  
令和7年7月24日まで  
(切手を貼らずにお出しくさい)

小林市細野300番地

小林市役所 議会事務局

広報広聴委員会 行

(はなみずきNo.65 2023.6月議会号)



ふりがな  
ご氏名

※「はなみずき」に掲載させていただく場合に、イニシャルやペンネームをご希望される場合はご記入ください。

□□□-□□□□

ご住所

お電話 ( )-( )-( )